

名前

① 日本で一番早くアユ漁が解禁された兵庫県内の景勝地は、どこでしょうか？

市の

② 解禁日が早いのはなぜか、説明してあるところに線を引きましょう。

③ この日、養殖されていたアユの稚魚が放流されました。およそ何匹ですか？

約

匹

④ アユ釣りには、必要なものがあります。それは何でしょうか？
また、一日当たりの料金はいくらかですか？

円

⑤ この記事を読んだ感想を書きましょう。

加古川中流域の景勝地、加東市の鬮竜灘で1日、和歌山県の日高川、有田川と並び日本で一番早くアユ漁が解禁された。朝から釣り客約20人が訪れ、初夏の日差しを浴びながら一番竿の感触を楽しんだ。

鬮竜灘はかつて、岩場を跳ね飛ぶ「飛びアユ」の名所として知られた。解禁日が早いのは、江戸時代に姫路藩主へ初物のアユを献上するため、他地域より早く漁が許可された名残ともいわれる。天然アユが減った今は、加古川漁協（西脇市）が

稚魚を放流している。

この日は午前8時半ごろ、たつの市の擔保川近くで養殖された体長12センチ前後のアユ約200匹（約2万匹）がトラックで到着。水温18度の川へ放たれたアユは元気に泳ぎ回り、待っていた釣り客は竿を振った。

アユの放流は加古川本流や支流で7月20日ごろまで続く。アユ釣りには遊漁証（1日2160円）が必要。同漁協 ☎0795・222・2572

（田中靖浩）

初夏 しなる一番竿

加東・鬮竜灘 日本一早くアユ漁解禁

NEXTに動画



岩場でアユ漁を楽しむ人たちは1日午前、加東市上滝野、鬮竜灘